

# 梅毒について知ってほしいこと

## 梅毒ってどんな病気？

梅毒トレポネーマという細菌が、粘膜や皮膚の傷口に接触することで感染します。

梅毒に感染していると、性器など感染部位の粘膜が傷つき、HIV など他の感染症にかかりやすくなります。

妊娠中の女性が感染して治療せずにいると、死産や早産となったり、お腹の赤ちゃんに感染して症状や障害が出る先天梅毒となる可能性があります。

梅毒は完治しても再感染することがあります。

## どんな症状がでるの？

### 第1期 感染後約3週間～

感染した部位（陰部、唇、口腔内、肛門など）に赤いできもの、ただれができますが、痛みやかゆみはなく、症状は自然に消失します。股の付け根のリンパ節が腫れることもあります。未治療でも症状が消えるため、治ったように見えますが、体内から梅毒がなくなったわけではなく、感染力を持ったまま静かに病気が進行していきます。



### 第2期 感染後約3か月～

体全体にうっすら赤い発疹（バラ疹）や手のひら・足の裏に乾癬に似た皮疹（梅毒性乾癬）ができます。治療をしても、症状は自然に消失しますが、抗菌薬で治療しないかぎり感染力はあり、そのまま進行します。



### 第3・4期 感染後約3年以降

皮膚や筋肉、骨にゴムのような腫瘍ができたり、血管や心臓、脳などの臓器に病変ができ、進行すると失明や認知症のような症状がでたり、場合によっては死亡することもあります。



## どうやって感染するの？

性行為により感染部位と粘膜や皮膚が接触することで感染します。

【梅毒が感染している可能性のある部位】

男性性器・女性性器・肛門・口



【梅毒が体の中に入る入口】

粘膜（性器・直腸・口腔内）、傷口

性的接触

妊婦の胎盤を通じて胎児に感染する母子感染もあります。血液を介した感染は極めてまれです。



## 大阪市の梅毒検査で陽性がわかったら？

- ・結果が陽性の場合、保健師や医師が検査結果について説明し、医療機関への紹介状を発行します。男性は性病科・泌尿器科・皮膚科、女性は性病科・婦人科・皮膚科への受診をお勧めします。医療情報ネット(ナビイ)で大阪府内の診療所や病院を探すことができます。
- ・大阪市の梅毒検査は、スクリーニング検査であり、治療が必要な状態かはわかりません。医療機関でさらに詳しい血液検査を受けて、治療が必要か相談しましょう。
- ・周囲で感染している可能性のある方(パートナー等)にも検査を勧めましょう。



医療情報ネット(ナビイ)

## どんな治療をするの？

- ・梅毒は、外来で処方された抗菌剤を医師の指示通りの期間内服する、もしくは抗菌薬の注射で治る病気です。
- ・治療後、採血をして治療効果を確認します。
- ・何度でも感染することがあるため、パートナーと一緒に治療することが大切です。

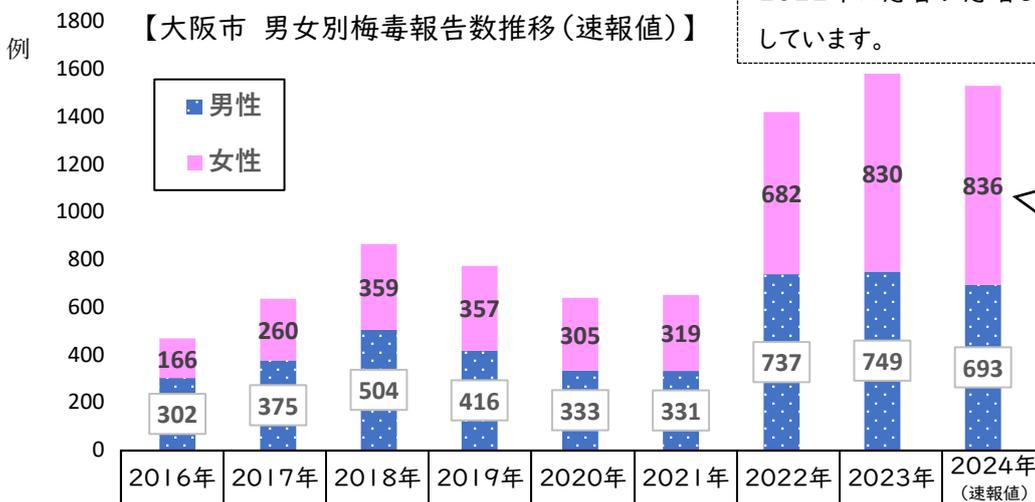


## やっぱり予防が大事！

あらゆる性行為の際にはコンドームを正しく使用しましょう。ただし、コンドームを使用しても、コンドームが覆わない部分の皮膚・粘膜から感染することがあります。100%予防できると過信はせず、皮膚や粘膜に異常があった場合は性行為を控え、早めに医療機関へ受診しましょう。また、症状がなくても感染の不安があれば、検査を受けて早く見つけることが大切です。

## 梅毒の流行状況

2018年をピークに患者数は減少傾向でしたが、2022年に患者が急増し、2024年も高い報告数で推移しています。

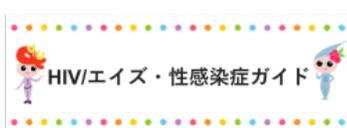


女性患者の割合が増えています。女性患者のうち、20代が68.5%を占めています。

## 梅毒やその他の性感染症のコトもっと知りたい！

大阪市ホームページでは、各性感染症の説明や検査・相談窓口についての情報を掲載しています。またHIV(エイズ)・性感染症専用のX(旧Twitter)「大阪市保健所 HIV・性感染症情報ナビ」では、最新情報を発信します。

●詳しい情報はWEBページへ



●最新情報はX(旧Twitter)より発信



●Instagram【osakacity\_hiv\_sti】

